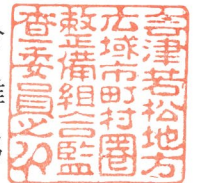




5 会広整監第 14 号
令和 5 年 8 月 18 日

会津若松地方広域市町村圏整備組合
管 理 者 室 井 照 平 様

会津若松地方広域市町村圏整備組合
監 査 委 員 菅 井 隆 雄
監 査 委 員 後 藤 公 男



令和 4 年度会津若松地方広域市町村圏整備組合
水道用水供給事業会計決算審査意見書について（提出）

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、令和 4 年度会津若松地方広域市町村圏
整備組合水道用水供給事業会計決算及びその関係書類を審査した結果について、
次のとおり意見書を提出します。

令和 4 年 度

会津若松地方広域市町村圏整備組合
水道用水供給事業会計
決 算 審 査 意 見 書

会津若松地方広域市町村圏整備組合監査委員

目 次

第 1	審 査 の 種 類		1
第 2	審 査 の 対 象		1
第 3	審 査 の 着 眼 点		1
第 4	審 査 の 主 な 実 施 内 容		1
第 5	審 査 の 実 施 場 所 及 び 日 程		1
第 6	審 査 の 結 果		1
第 7	審 査 の 意 見		2

凡 例

- 1 比率（％）は、原則として小数点以下第2位を四捨五入している。
- 2 符号の用法は、次のとおりである。

「－」	・・・	該当数値がないもの、算出不能なもの又は増減率において無意味なもの
「0.0」	・・・	数値が0のもの又は該当する数値はあるが単位未満のもの
「△（数値）」	・・・	負数
- 3 文中で用いるポイントは、パーセンテージ間の単純差引数値である。

決 算 審 査 意 見 書

第 1 審査の種類

地方公営企業法第 30 条第 2 項に基づく決算審査

第 2 審査の対象

令和 4 年度会津若松地方広域市町村圏整備組合水道用水供給事業会計決算

第 3 審査の着眼点

全国都市監査委員会が定める実務ガイドライン「監査等の着眼点」の「第 8 節 決算審査の着眼点」に基づき、決算書類が地方公営企業法等に則して作成され、かつ、企業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているか、併せて、事業が地方公営企業法第 3 条に規定する「企業の経済性を発揮し公共の福祉を増進する」という原則に則り運営されているかを主眼として審査を行った。

第 4 審査の主な実施内容

会津若松地方広域市町村圏整備組合監査基準に準拠して決算審査を行ったところであり、審査に付された決算報告書、財務諸表（損益計算書、剰余金計算書、貸借対照表）及びこれらに関する附属書類を審査するとともに、会計帳簿及び証拠書類との照合を行ったほか、関係職員から説明を聴取した。

第 5 審査の実施場所及び日程

審査実施場所 監査事務局及び会津若松市河東支所内会議室

審査実施日程 令和 5 年 6 月 6 日から同年 8 月 18 日まで

第 6 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表及びこれらに関する附属書類は、地方公営企業法等に則して作成されており、その計数も正確で、当年度の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。また、財務に関する事務の執行についてはおおむね適正であると認められた。

第7 審査の意見

1 業務実績

業務実績については以下のとおりである。

行政区域内人口と給水量

項 目		令和4年度 (a)	令和3年度 (b)	比較増減 (a)－(b)	増減率 (%)
行政区域内人口		150,573 人	152,988 人	△2,415 人	△1.6
年間送水量		5,310,779 m ³	5,352,718 m ³	△41,939 m ³	△0.8
年間給水量（有収水量）		5,217,321 m ³	5,255,465 m ³	△38,144 m ³	△0.7
内 構 成 団 体 内 訳	会津若松市	1,780,078 m ³	1,747,916 m ³	32,162 m ³	1.8
	会津坂下町	1,727,200 m ³	1,831,430 m ³	△104,230 m ³	△5.7
	会津美里町	1,710,043 m ³	1,676,119 m ³	33,924 m ³	2.0
有 収 率		98.2%	98.2%	0.0 ポイント	—

令和4年度の年間送水量は5,310,779 m³で、前年度と比較してマイナス41,939 m³（前年度比0.8%減）となり、年間給水量（有収水量）も5,217,321 m³と、前年度と比較してマイナス38,144 m³（前年度比0.7%減）といずれも減少している。

構成団体の内訳で見ると、会津若松市と会津美里町で、それぞれ前年度比1.8%増、2.0%増となった。一方、会津坂下町は、前年度と比べて5.7%減となっているが、これは、町内で営業していた温泉施設が令和3年度末に閉館したことが主な要因である。

なお、令和4年度の有収率は98.2%となり、令和3年度と同じ値を示している。

2 収益的収支

ア 収益的收入

収益的收入については以下のとおりである。

収益的收入

[※消費税及び地方消費税を除いた金額] (単位：円)

区 分	令和4年度 決算額 (a)	令和3年度 決算額 (b)	比較増減 (a) - (b)	増減率 (%)
営業収益	473,112,225	473,386,340	△274,115	△0.1
給水収益	473,112,225	473,386,340	△274,115	△0.1
営業外収益	90,896,669	89,250,811	1,645,858	1.8
受取利息及び配当金	185,160	175,775	9,385	5.3
長期前受金戻入	90,155,430	88,700,292	1,455,138	1.6
雑収益	556,079	374,744	181,335	48.4
特別利益	302,254	679,609	△377,355	△55.5
過年度損益修正益	254	1,609	△1,355	△84.2
その他特別利益	302,000	678,000	△376,000	△55.5
収益的收入合計	564,311,148	563,316,760	994,388	0.2

令和4年度の収益的收入の合計は564,311,148円となり、前年度と比較して994,388円（前年度比0.2%）の増となった。

そのうち、全体の83.8%を占める営業収益（給水収益のみ）は473,112,225円となり、前年度と比べて274,115円（前年度比0.1%）の減となっている。これに対して、営業外収益は90,896,669円となり、前年度と比べて1,645,858円（前年度比1.8%）の増となった。

営業外収益の大部分を占める長期前受金戻入（※）は90,155,430円となり、前年度と比べて1,455,138円（前年度比1.6%）の増となった。令和4年度は、取水ポンプ設備等の更新に伴い、旧設備の除却により補助金等戻入額が計上されたため増加したものである。

※長期前受金戻入は、資産形成時の国庫補助金等について、当該資産の減価償却費の計上時や除却に伴う資産減耗費の計上時に、それに応じた額を収益として計上するものである。

イ 収益的支出

収益的支出については以下のとおりである。

収益的支出（目的別） [※消費税及び地方消費税を除いた金額]（単位：円）

区 分	令和4年度 決算額 (a)	令和3年度 決算額 (b)	比較増減 (a) - (b)	増減率 (%)
営業費用	482,893,881	468,780,985	14,112,896	3.0
職員給与費	35,767,310	32,747,747	3,019,563	9.2
減価償却費	244,454,443	232,487,431	11,967,012	5.1
資産減耗費	14,614,449	9,681,865	4,932,584	50.9
その他の経費	188,057,679	193,863,942	△5,806,263	△3.0
委託料	68,461,398	83,643,856	△15,182,458	△18.2
薬品費	6,917,410	5,682,470	1,234,940	21.7
動力費	50,341,702	36,058,077	14,283,625	39.6
修繕費	31,753,968	36,990,596	△5,236,628	△14.2
その他	30,583,201	31,488,943	△905,742	△2.9
営業外費用	144,674	0	144,674	皆増
支払利息及び企業 債取扱諸費	144,674	0	144,674	皆増
収益的支出合計	483,038,555	468,780,985	14,257,570	3.0

令和4年度の収益的支出の合計は 483,038,555 円となり、前年度と比較して 14,257,570 円（前年度比 3.0%）の増となった。

営業費用のうち、令和3年度より増加した費用としては、燃料調整額の増加に伴う動力費 14,283,625 円（前年度比 39.6%）の増、機械及び装置の高圧受変電設備などに係る減価償却費 11,967,012 円（前年度比 5.1%）の増、取水ポンプ設備除却に伴う資産減耗費 4,932,584 円（前年度比 50.9%）の増などがある。

また、職員給与費については、3,019,563 円（前年度比 9.2%）の増となったが、これは、令和3年度と比べて、構成市町からの派遣職員が1名減員となったが、会津若松地方広域市町村圏整備組合（以下「整備組合」という。）の職員が1名増員となったことで、法定福利費等が増額したことによる。

一方で、令和3年度より減少した費用としては、委託料 15,182,458 円（前年度比 18.2%）の減、修繕費 5,236,628 円（前年度比 14.2%）の減などがある。委託料が減額した主な要因は、令和3年度に行った設備台帳・アセットマネジメント策定業務委託に相当する額の減によるものである。また、修繕費の減額については、計画的に修繕を行

う中で、前年度とは修繕内容が異なることに伴って生じたものである。

なお、営業外費用については、144,674 円の皆増となったが、これは、企業債の支払利息が発生したことによるものである。

3 事業成績

事業成績については以下のとおりである。

(単位：円)

項 目	令和4年度 決算額 (a)	令和3年度 決算額 (b)	比較増減 (a) - (b)	増減率 (%)
収益合計	564,311,148	563,316,760	994,388	0.2
費用合計	483,038,555	468,780,985	14,257,570	3.0
当年度純利益	81,272,593	94,535,775	△13,263,182	△14.0

損益勘定に係る長期財政計画比較表

(単位：千円)

項 目		令和4年度 決算額 (a)	令和4年度 財政計画額 (b)	比較増減 (a) - (b)
収 入	料金収入	473,112	471,928	1,184
	市町村補助金	0	0	0
	その他	91,199	91,340	△141
	収入計 (A)	564,311	563,268	1,043
支 出	人件費	35,841	34,000	1,841
	事務費・物件費等	11,609	12,443	△834
	作業費（動力費、維持 管理費等）	176,376	178,026	△1,650
	企業債利息償還金	145	1,030	△885
	減価償却費等	259,068	260,979	△1,911
	支出計 (B)	483,039	486,478	△3,439
損 益 (A) - (B)		81,272	76,790	4,482

令和4年度の当年度純利益は81,272,593 円で、前年度と比較して13,263,182 円（前年度比14.0%）の減となった。この減少は、総収益が994,388 円（前年度比0.2%）の増となったものの、総費用が14,257,570 円（前年度比3.0%）の増となったことによる。

このうち、総収益の増については、取水ポンプ設備等の更新に伴う長期前受金戻入額の増加が主な要因であり、総費用の増については、燃料調整額の増加に伴う動力費の増や機械及び装置の高圧受変電設備などに係る減価償却費の増、取水ポンプ設備除却に伴う資産

減耗費の増が主な要因である。結果として、総費用の増加分が総収益の増加分を大きく上回ったことにより、純利益としては前年度より減少したものである。

なお、令和4年度の決算額と財政計画額を比べると、収入については、料金収入において財政計画額より決算額が上回ったことにより、全体として1,043千円上回っている。一方で、支出については、作業費のうち動力費が12,765千円上回ったものの維持管理費が14,433千円下回ったことや、減価償却費が1,911千円下回ったことなどにより、全体として財政計画額より決算額が3,439千円下回っている。収入全体から支出全体を差し引きした損益は、財政計画額より決算額が4,482千円上回ることとなった。

4 資本的収支

ア 資本的収入

資本的収入については以下のとおりである。

資本的収入

[※消費税及び地方消費税を除いた金額] (単位：円)

区 分	令和4年度 決算額 (a)	令和3年度 決算額 (b)	比較増減 (a) - (b)
企業債	165,600,000	158,400,000	7,200,000
負担金	4,840,000	0	4,840,000
資本的収入合計	170,440,000	158,400,000	12,040,000

資本的収入については、合計金額が170,440,000円となり、前年度に比べて12,040,000円増加している。

これは、企業債165,600,000円の借入れを行ったことが主な要因である（前年度比7,200,000円の増）。また、負担金は4,840,000円の皆増となったが、これは、令和3年度に行った企業債償還のための構成団体負担金によるものである。

イ 資本的支出

資本的支出については以下のとおりである。

資本的支出

〔※消費税及び地方消費税を除いた金額〕（単位：円）

区 分	令和4年度 決算額 (a)	令和3年度 決算額 (b)	比較増減 (a) - (b)
建設改良費	377,195,900	316,389,532	60,806,368
浄水場改良費	357,210,000	215,107,824	142,102,176
送水設備改良費	14,535,400	99,183,700	△84,648,300
固定資産購入費	5,450,500	2,098,008	3,352,492
企業債償還金	15,840,000	0	15,840,000
資本的支出合計	393,035,900	316,389,532	76,646,368

資本的支出については、合計金額が 393,035,900 円となり、前年度に比べて 76,646,368 円増加しているが、これは、建設改良費 60,806,368 円の増加や、企業債償還金 15,840,000 円の皆増によるものである。

建設改良費のうち、送水設備改良費は 84,648,300 円減少したものの、浄水場改良費は 142,102,176 円増加し、固定資産購入費は 3,352,492 円増加している。これは、計画的に事業を行う中で、前年度とは工事内容等が異なることに伴って生じたものである。

5 経営分析

経営分析については以下のとおりである。

経営比較分析表

(単位：％)

項 目	令 和 4 年度	令 和 3 年度	令 和 2 年度	説 明
経常収支比率 〔経常収益/経常費用× 100〕	116.76	120.02	126.07	当該年度において、給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す。100％以上であれば単年度黒字であることを示す。
流動比率 〔流動資産/流動負債× 100〕	2,151.47	3,166.64	1,912.32	短期的な債務に対する支払能力を表す。100％以上であれば1年以内の債務以上の現金等がある状況を示す。
企業債残高対給水収益比率 〔企業債現在高/給水収益×100〕	65.13	33.46	0.00	給水収益に対する企業債残高の割合であり企業債残高の規模を表す。
料金回収率 〔供給単価/給水原価× 100〕	120.42	124.55	131.98	給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表す。100％を下回れば給水費用が給水収益以外の収入で賄われていることを示す。
給水原価 〔(経常費用-長期前受金戻入)/年間総有収水量〕	75.30 円	72.32 円	68.79 円	有収水量1 m ³ あたりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す。

企業債償還状況及び未償還残高

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
給水収益		473,112,225	473,386,340	472,919,830	476,407,970	554,352,425
企業債 償還額	元 金	15,840,000	0	0	18,180,000	78,990,021
	利 息	144,674	0	0	197,616	2,616,030
	合 計	15,984,674	0	0	18,377,616	81,606,051
企業債未償還残高		308,160,000	158,400,000	0	0	18,180,000

経営比較分析表の各指標から考えられる状況は次のとおりである。

- ア) 経常収支比率は、年々比率が下がっているものの、経常収益が経常費用を上回っており、引き続き良好な経営状況にあるといえる。
- イ) 流動比率は、100%を大きく超えており、現金預金等の流動資産が流動負債を上回っていることから、支払能力も十分であることを示している。
- ウ) 企業債残高対給水収益比率は、企業債の借入れにより、令和3年度は33.46%、令和4年度は65.13%と比率が増大しているものの、100%は超えておらず良好な数値を示している。
- エ) 料金回収率については、年々比率が下がっているものの、100%を超えており、令和元年度の料金改定後も良好な数値を維持している。
- オ) 給水原価については、年々費用が上昇しているものの、その費用は給水収益（用水料金）で十分賄われており、経営は安定しているといえる。

6 施設整備

浄水場の施設整備については、供用開始以来30年以上が経過し、設備の老朽化も進んでいることから、定期点検等による的確な修繕等により、施設の長寿命化に取り組んでいる。

施設整備に当たっては、水道ビジョン（平成29年度～令和8年度）や水道用水供給事業経営戦略（令和3年度～令和12年度）で表した考えに基づくこととしており、さらに、具体化した長期財政計画（令和4年度～令和13年度）に沿って計画的に整備を進めている。

令和4年度においては、上記を踏まえ、建設改良工事である取水ポンプ場電気設備等更新工事（令和3年度からの2か年継続事業）や馬越浄水場調整池直流電源装置更新工事、並びに保存工事である馬越浄水場No.2脱水機ろ布取替その他修繕工事や揚岐水管橋塗装工事などを行った。

7 資金状況

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書については以下のとおりである。

キャッシュフローの状況

(単位：円)

区 分	令和4年度 (a)	令和3年度 (b)	比較増減 (a) - (b)	摘 要
業務活動による キャッシュフロー	254,692,037	200,677,643	54,014,394	営業活動・取引に係るもので、以下の投資活動以外の取引に係る資金の流れ
投資活動による キャッシュフロー	△226,996,564	△273,247,049	46,250,485	有形固定資産の取得による支出、固定資産取得に係る国庫補助金の収入など投資に係る資金の流れ
財務活動による キャッシュフロー	149,760,000	158,400,000	△8,640,000	企業債による収入、企業債の償還による支出など、資金調達による資金の増減等に係る資金の流れ
資金増加額 (又は減少額)	177,455,473	85,830,594	91,624,879	
資金期首残高	1,292,208,864	1,206,378,270	85,830,594	
資金期末残高	1,469,664,337	1,292,208,864	177,455,473	

キャッシュフロー計算書は、会計期間における資金（現金及び現金同等物）の状況を示すものである。

令和4年度は、資金期首残高1,292,208,864円のところ、資金増加額177,455,473円により、資金期末残高が1,469,664,337円となり、資金的な面での問題は見られない。

業務活動によるキャッシュフローは、前年度比54,014,394円の増、投資活動によるキャッシュフローは前年度比46,250,485円の増、財務活動によるキャッシュフローは前年度比8,640,000円の減となっている。

ア) 業務活動によるキャッシュフローが前年度比で増加しているのは、当年度純利益が減少したものの、現金支出の伴わない減価償却費や固定資産除却費が増加したことや未収金の減少などが主な要因である。

- イ) 投資活動によるキャッシュフローが前年度比で増加しているのは、取水ポンプ設備等の更新に伴う有形固定資産取得により減少したものの、前払金の減少や未払金が増加したことによるものである。
- ウ) 財務活動によるキャッシュフローが前年度比で減少しているのは、企業債の償還を行ったことによるものである。

8 まとめ

整備組合の水道用水供給事業は、平成2年4月の供用開始以来30年以上が経過し、現在は「水道ビジョン（平成29年度～令和8年度）」や「水道用水供給事業経営戦略（令和3年度～令和12年度）」、さらには具体的な個別計画の「長期財政計画（令和4年度～令和13年度）」に位置付けた施設整備を計画的に推進することで、水道水の安定供給の確保と健全な経営の確立に努めている。

令和4年度の業務実績及び経営状況は、行政区域内人口の減少や温泉施設の閉館などによって年間送水量や年間給水量（有収水量）は減少しており、給水収益も昨年度に比べて微減している状況である。

また、当年度純利益は前年度に比べて14%の減少となったが、前述の長期財政計画との比較においては、料金収入、損益ともに上回っており、経営比較分析の各指標においても、良好な数値を示しており、引き続き安定した経営状況が続いているといえる。

施設整備については、設備の老朽化も進んでいることから、令和4年3月に策定した「設備台帳・アセットマネジメント」に基づき、定期点検等による的確な修繕等をはじめ、施設の長寿命化に取り組んでいる。

今般、当整備組合の馬越浄水場から受水する会津若松市、会津坂下町、会津美里町の水道事業体間において「水道事業の技術的な連携に関する基本協定」が締結され、技術的業務の連携強化や相互補完による相乗効果の発揮により、同一流域内の水道事業が将来にわたって持続的かつ円滑な事業運営となることが期待されている。

とりわけ、少人数体制の当整備組合においては、広域的な連携を発揮され、大規模な浄水場と広大な給水範囲の管路等の維持管理に万全を期されたい。

令和元年度に水道料金が改定（引下げ）されて以降も、毎年度の決算において一定の利益が生じており、再度の料金改定の検討も示唆されるところではあるが、動力費などの高騰による経常収支比率の動向も不透明なことから、当面は、剰余金は将来の設備投資に充てていく考えが改めて示されたところである。

今後も引き続き、効率的で適切な維持管理に当たりながら、将来における水需要を的確に予測し、関係する行政区域内への水道水の安定供給に努められたい。